

2

整備の基本方針



1 まちのコンセプト

古賀駅西口周辺の課題や特徴を踏まえ、まちづくりの指針となるまちのコンセプトを設定し、めぐり歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりを推進します。

まちのコンセプト

「めぐる」をつくる

—古賀駅西口の本質的再生へ ウォーカブルなまちづくり—



居心地がよく活動が行われる点となる場所をつくり、それらの点を増やし、つなぎ、ネットワーク化させることで、地域住民や訪れる人々にとって、居心地がよく、巡りたくなるようなまちなかをつくっていきます

地元のまちづくり活動がそれぞれ連携しながら、計画からアクション、効果検証を積み重ねることで、まちづくりの好循環な状態をつくっていきます

現状・課題を踏まえたまちづくりの考え方

活かすべきまちの特徴

- ・ 点在する店舗の集積
- ・ 複数の地元活動団体の存在
- ・ 細かい街区割りと細街路
- ・ 歩行者が多く歩く動線ルートと結節点となるまちかど 等

改善すべき環境

- ・ まちなかへの通過交通の流入
- ・ 歩行環境の悪い道路
- ・ 未利用宅地（空地・駐車場）や空家
- ・ 規模が小さく老朽化した駅前広場 等

既存の街路やまちの雰囲気を活かしながら、それらの魅力をより高めるためにまちの環境改善や地元の活動の活性化に取り組み、めぐり歩いて楽しいまちなかをつくる

まちの方針

駅前広場やまちかど等の点の整備、点をつなぐかたちでの歩行者ネットワークづくりと民地を含む面的なエリアマネジメントを並行して展開し、古賀駅西口周辺の本質的な再生を目指します。



まちなかを回遊する際の結節点となる、まちかどや駅前広場といった点を整備し、居心地がよく、人々の活動が活発に行われる居場所づくり、周辺の民地や道路とのつながりを考慮した空間づくりを行います。

通過交通の抑制等のまちなか全体の交通環境を整えたうえで、居心地がよく、居場所となる点をつなぐ形で道路環境等の改善に取り組み、まちなかを回遊する歩行者ネットワークを構築します。

点と線でつながれたまちなかにおいて、民間の個々の活動を醸成し、イベントの実施や場所の活用を促進するマネジメントを行い、にぎわいをエリア全体に広げていきます。



まちづくりの進め方

まちのコンセプト、まちの方針で示すまちなかの実現に向け、調査・計画・実行・検証のサイクルを重ね、発展させていくまちづくりの進め方を示します。

道路体系の方針

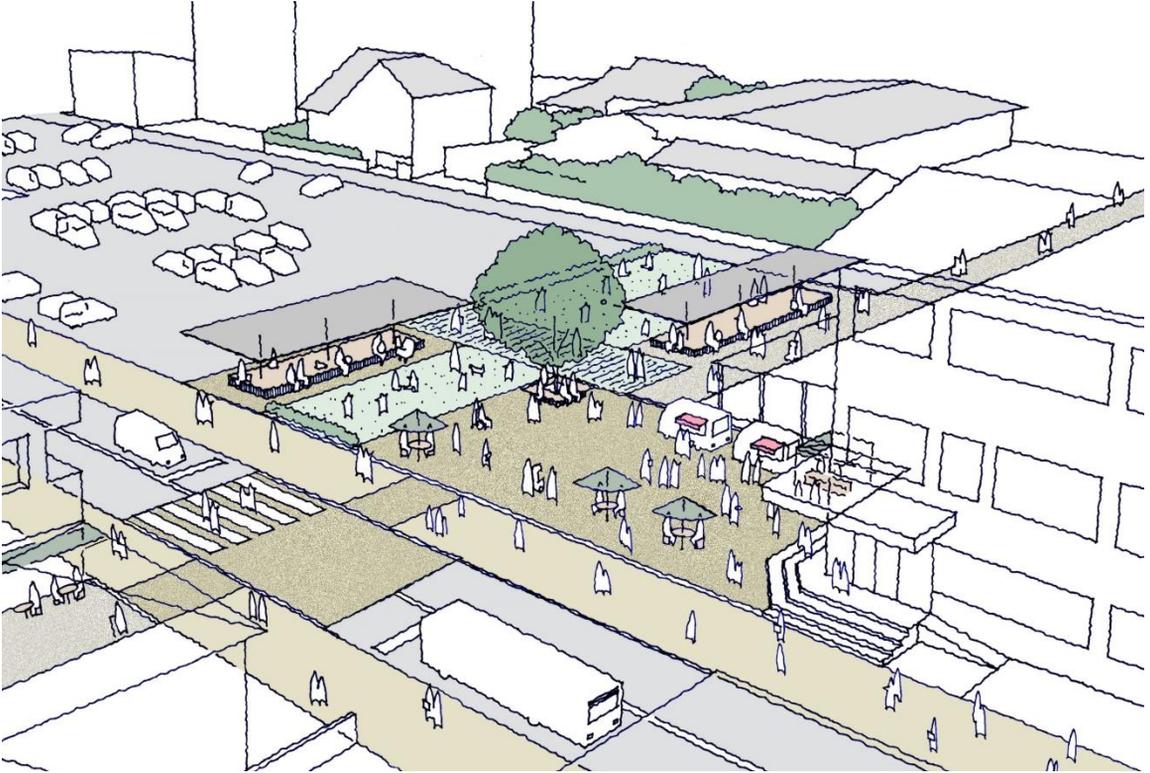
歩きやすいまちなか環境をつくるための前提として、古賀駅西口周辺エリア内のみでなく、古賀駅周辺も含めて、広域、中域、狭域の道路体系の方針を示します。

2 まちの方針

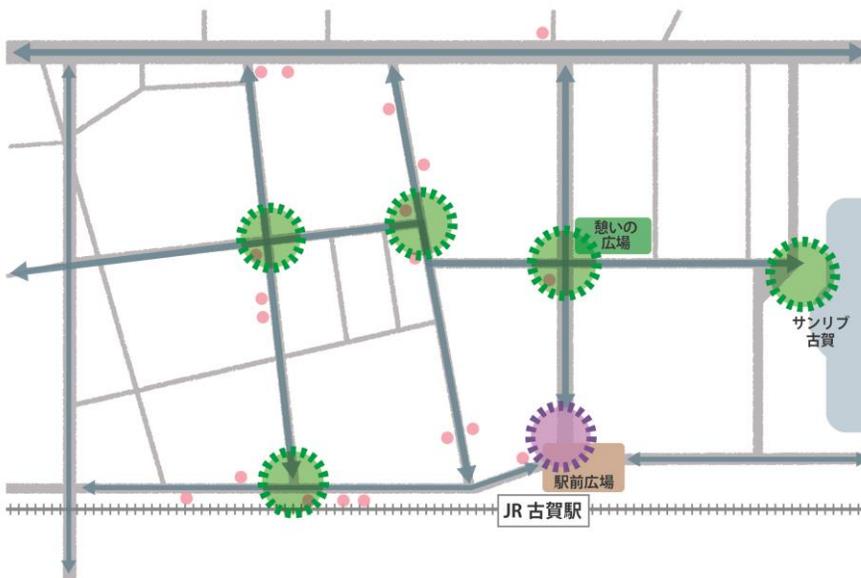
まちのコンセプトから3つのまちの方針をたて、にぎわいを広げていきます。

プレイスメイキング（点をつくる）

まちなかにあるまちかどや駅前広場を人が回遊する際の重要な結節点ととらえ、その点に人が立ち寄り、居心地よく過ごし、活動できるような居場所づくりを行います。居場所となった点がめぐり歩いて楽しいまちなかをつかっていくための起点となります。



点のひとつである憩いの広場の整備イメージ



歩行者行動調査における、歩行者の動線や店舗の集積、環境等を考慮して、重要と考えられるまちかどに点を設定

-  まちかどの点
(ポケットパークや民間活動の拠点等)
-  えきまえの点
(駅前広場)
-  まちなかの店舗等
(2023年社会実験連携)

点としての整備を検討する箇所

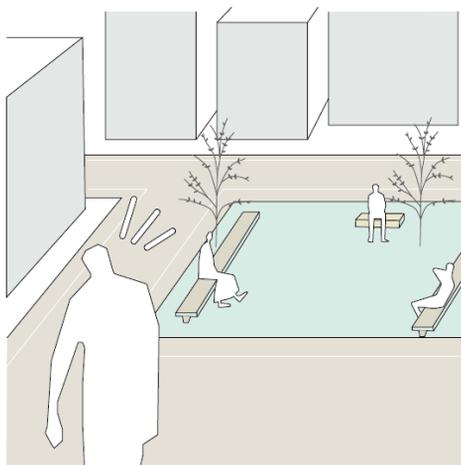
プレイスメイキングの方針1

人を受け入れる場所をつくる

まちや駅から歩いてきた人が気軽に立ち寄り、憩えるような、人を受け入れる空間づくりを行います。

そのための視認性の確保、人を導く動線設定を行います。

また、点となる場所に居心地がよく滞在できるようなベンチ等の設えや植栽の配置等の環境づくりを行います。

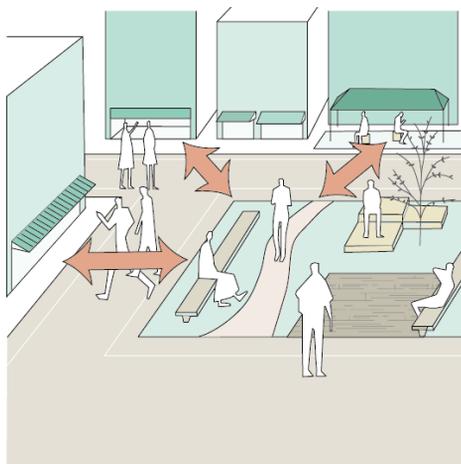


プレイスメイキングの方針2

周辺とのつながりをつくる

点の中で閉じるのではなく、まちとの一体感があり、利用する人がまちなかの次の場所へと回遊を促す結節点となる空間づくりを行います。

そのために、周囲の民地・店舗や道路空間とのつながりを考慮した外周部の空間づくりや動線の設定を行うほか、周辺との一体的な利用に対応できる空間づくりを行います。

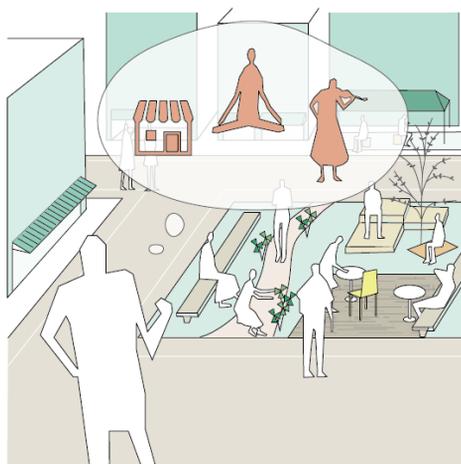


プレイスメイキングの方針3

そこにいる人への働きかけをつくる

ここにいたい、ここで何かやりたいと思われる場所とするため、アクティビティを誘発する設えのほか、多様な活動を許容する余白や、そこにいる人へ働きかけ、一緒に居場所をつくっていく仕掛けをつくります。

後述するエリアマネジメントにおいて、地域の人たちと一緒に場所を育てていくことを前提とした空間づくりを行います。



歩行者ネットワーク（点をつなぐ）

居場所となる点をつなぐ形で、歩行者が回遊するネットワークを設定します。道路の場所、周囲の環境、これまでの人の流れ等を踏まえて各道路を位置付けし、その特性をさらに際立たせるために舗装等の道路空間を設え、歩行者がめぐり歩いて楽しい環境をつくります。



多様なにぎわいの回遊動線のイメージ



まちかどの点をつなぐ形で、道路の特性に合わせ、多様なにぎわいの回遊動線やシンボル空間軸等の歩行者ネットワークを設定

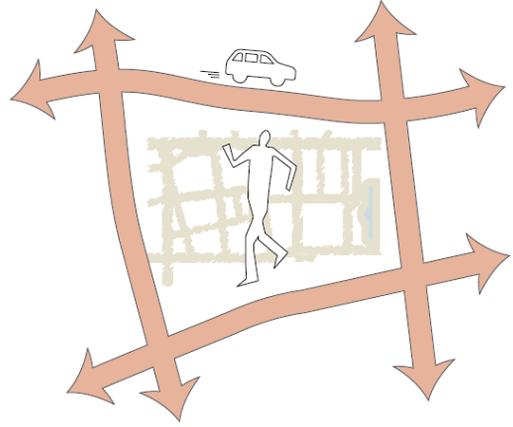
- まちなかの店舗等
(2023年社会実験連携)
- シンボル空間軸
- 多様なにぎわいの回遊動線
- 歩車共存の回遊動線
- 通過交通の抑制
- 通過交通の抑制
- 幹線道路

歩行者ネットワークと各道路の位置付け

歩行者ネットワークの方針1

人中心のまちなかのための
交通環境を整える

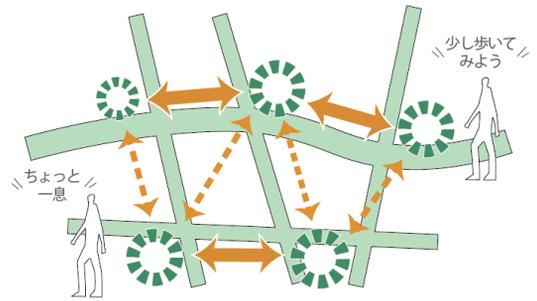
歩行者ネットワークの構築の土台として、古賀駅西口のみではなく、周辺も含めた交通体系の再編を推進します。自動車の通過交通の抑制のために、周辺道路の自動車交通の流れについて整理することで、まちなかをめぐり歩いて楽しい、人中心の空間とするための交通環境を整えます。



歩行者ネットワークの方針2

点となるまちかどを活かした
ネットワークをつくる

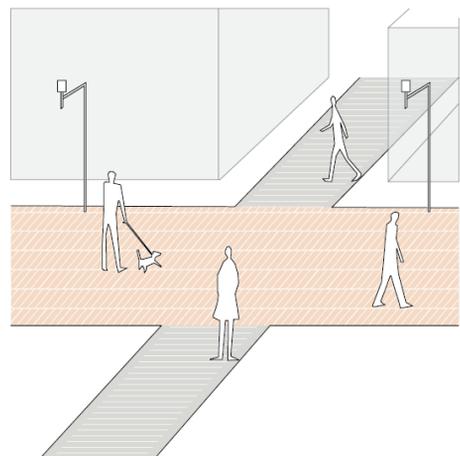
交通の結節点、居場所となる点であるまちかどをつなぐことを主軸に、まちなかの道路について、場所や幅員、周囲の環境、これまでの人の流れや今後の自動車交通等を踏まえて位置付けします。それらが交わる形でまちなか全体の歩行者ネットワークを構築します。



歩行者ネットワークの方針3

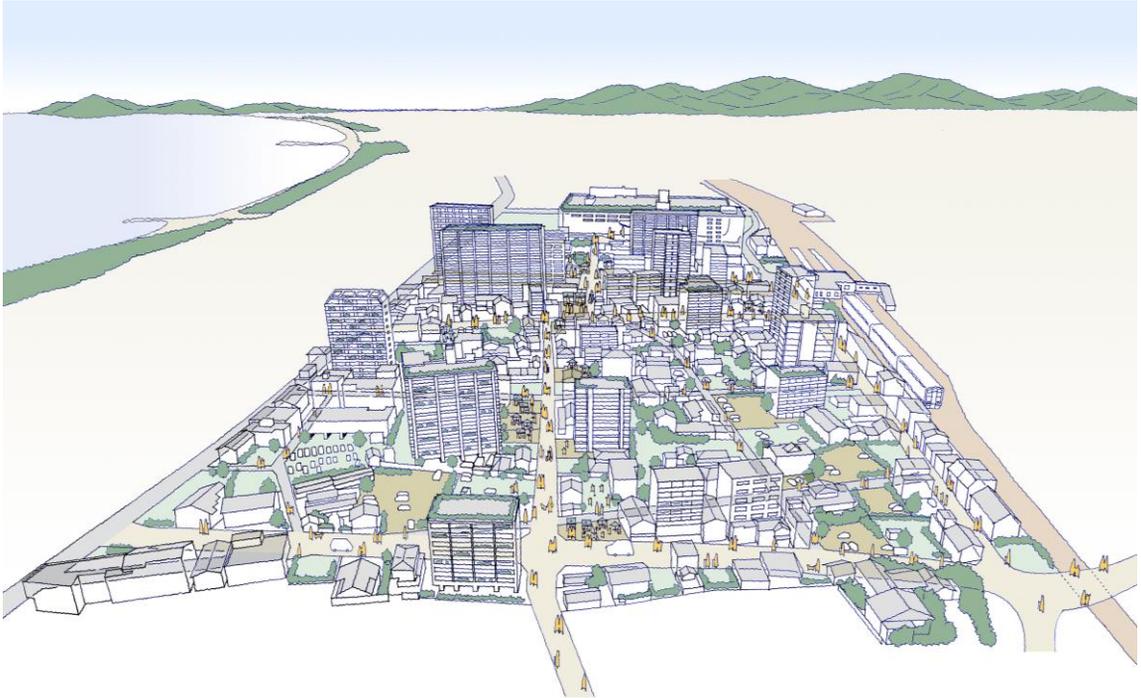
より歩きやすい道路空間を設える

歩行者ネットワークに位置付けられたそれぞれの道路について、歩行者ネットワークをより可視化し、歩きやすい環境となるように整備を推進します。歩行者が心地よさを感じ、店舗と道路が一体となった魅力的な空間とするために、色調や材質を考慮して道路舗装等を設え、歩行者の回遊を促します。

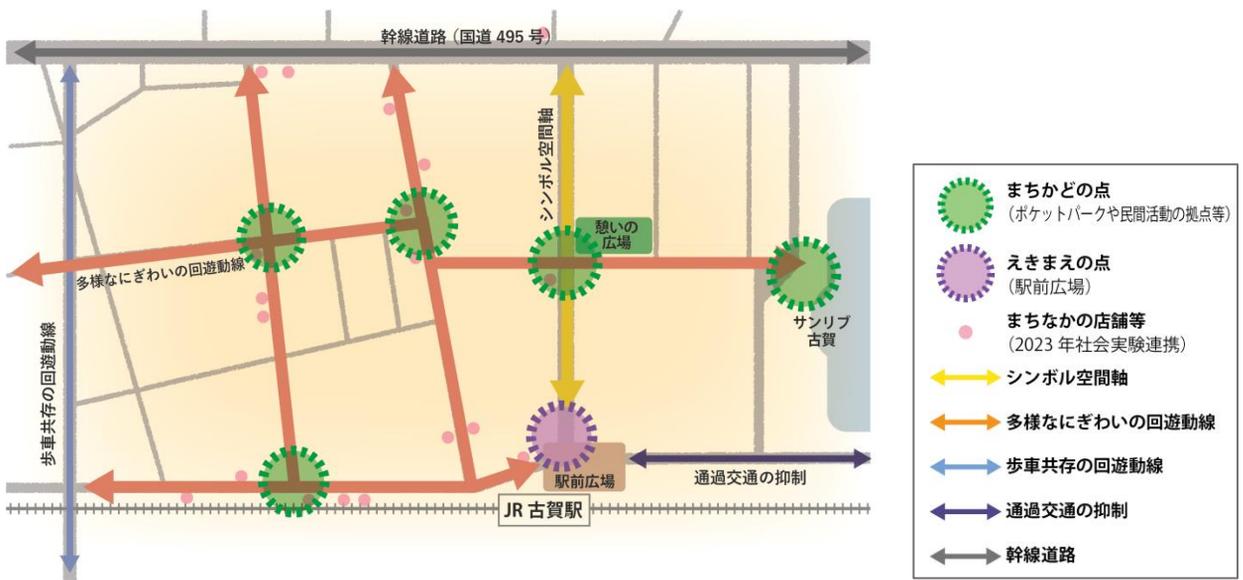


エリアマネジメント（面に広げる）

点と線でつながれたまちなかにおいて、地域の店舗や活動団体等が点の空間を使いこなし、線に活動が染み出すことで、点以外の場所や線周辺の魅力がより高まり、にぎわいと回遊が面的に広がっていきます。このような状況をマネジメントするために、まちづくりの方向性を共有し、連携・協同する枠組みをつくり、それが持続していくための仕組みを構築します。



エリアマネジメントにより、にぎわいと人の回遊をまちなか全体へと広げる



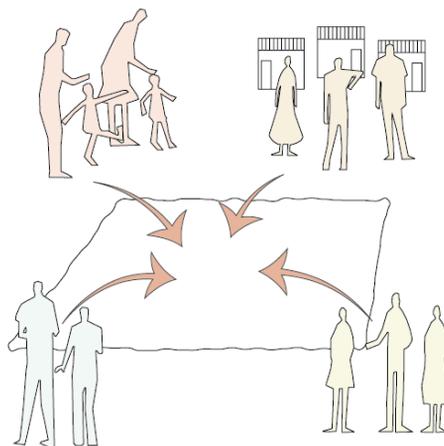
エリアマネジメントによる面としてのにぎわいの展開

エリアマネジメントの方針1

地域で点を使いこなし、点となる場所を育てる

まちなかに整備した点となる広場等の空間を、地域の店舗や活動団体が点を使いこなすことで点となる場所を一緒に育てていきます。

点となる場所を育てていくことを通じて、点と店舗等との連携・つながりを促進し、にぎわいをまちに広げていき、それぞれの団体のまちづくりへの機運を高めていきます。



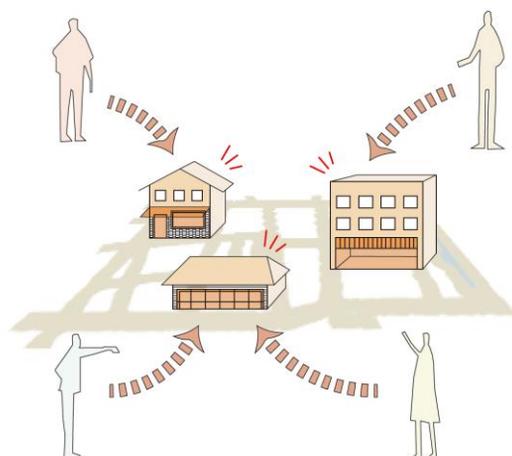
エリアマネジメントの方針2

民地側の魅力向上に取り組み、まちに新しい人たちを呼び込む

にぎわいをまち全体に広げていくために、点や線の公共空間の整備と連動する形で、民地側の魅力づくりに取り組みます。

民間事業者・団体と連携し、空き店舗の活用やリノベーション、古賀駅西口周辺でのマッチング等を促進し、まちに新しい人たちを呼び込みます。

また、建物軒先の緑化やベンチ設置等のちょっとした環境改善についても推進します。

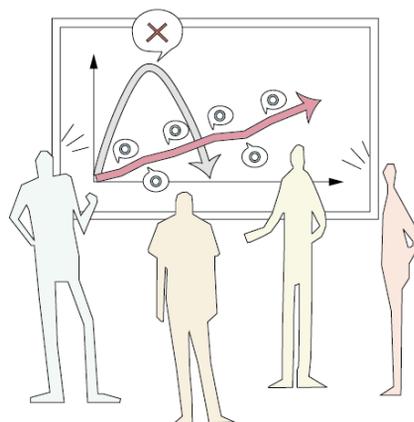


エリアマネジメントの方針3

マネジメントが持続する仕組みをつくる

エリアマネジメントが持続し、まちなかの魅力を継続的に高めていくために、体制づくりやルールづくりに取り組むほか、まちの課題や今後について関係者が議論できる場をつくります。

中・長期的な視点を持ち、関係者に負担が少なく、新しい人も参画しやすい体制を検討します。



3 まちづくりの進め方

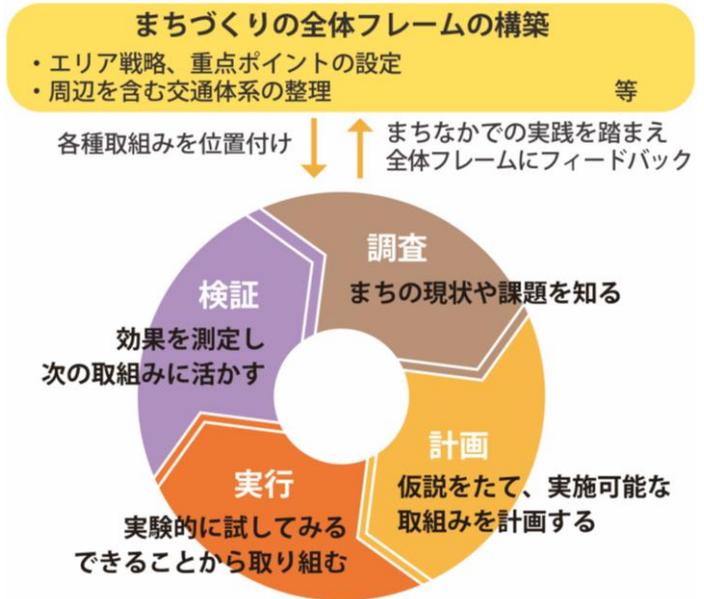
調査・計画・実行・検証のサイクルを積み重ねてまちづくりを進めるとともに、それを象徴する社会実験「古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト」を地域と連携して展開します。

まちづくりのサイクルを回し、発展させる

古賀駅西口周辺エリアのまちづくりは、点や線の整備とそれらの活用やエリアマネジメントの面的な展開等、様々な事柄が輻湊するものです。

そのようななかで、エリア戦略や重点的に取り組む事項等のまちづくりの全体フレームを構築したうえで、社会実験や小さな整備等、できることから調査・計画・実行・検証のサイクルを重ねていきます。

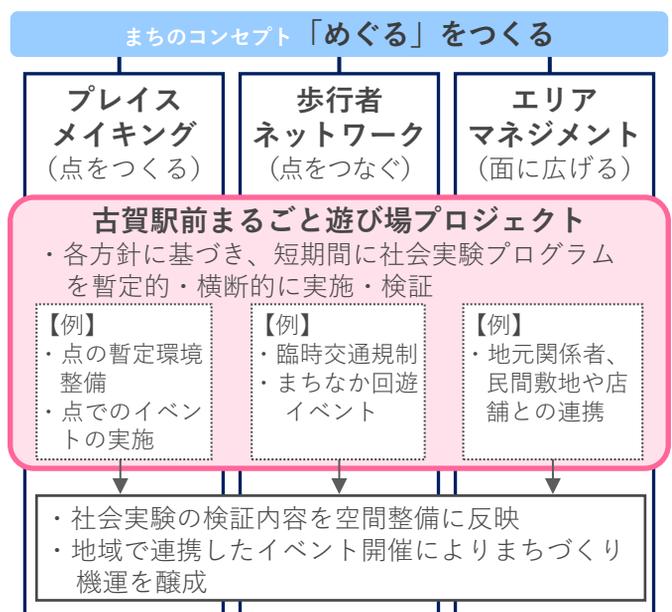
それらの検証結果をまちづくりの全体フレームにフィードバックしたうえで、空間の改良や別の整備を行っていくことで、まちづくりを継続・発展させていきます。



社会実験：古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト

調査→計画→実行→検証のまちづくりのサイクルを短期的にまわす社会実験を継続的に実施することでまちの漸進的な環境改善と地域のまちづくり機運の向上に取り組めます。

社会実験のプロジェクト名は、古賀駅周辺にたくさんの人たちが集い、楽しむ場所にしたいという願いを込めて「古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト」とし、まちのコンセプトとまちの方針に基づいた各種取組みを横断的、複合的に取組み、その結果を空間整備やまちづくり活動に活かしていきます。



4 道路体系の方針

自動車のまちなかへの通過交通の抑制等、歩行者にやさしい環境の構築に向け、周辺も含めて道路体系を整理します。

ウォーカブルなまちなか環境の構築のためには、道路体系について、古賀駅西口周辺のみにとどまらず、より広域の視点に立った検証や方針づくりが必要となります。

また、古賀駅東口周辺でも再整備の検討が行われており、古賀駅東口やリーパスプラザこが、市役所との連携や一体でのネットワークづくりも求められます。

以上より、古賀駅西口周辺整備の道路体系の方針として、広域・中域・狭域（古賀駅西口周辺）別に方針図として整理します。

道路体系の視点

広域～狭域的な視点での整理が求められる

- 通過交通抑制のためには、流入を抑制した場合の代替ルート、周辺に影響を与えないか等、広域・中域的な観点での検討したうえで、西口周辺での具体対策が必要

古賀駅東西の連携や周辺との一体的なネットワークが求められる

- 古賀駅西口周辺エリア内だけでなく、検討中の東口再整備、リーパスプラザこがや市役所等とのつながり、役割分担等を考慮して一体的なネットワークの検討が必要

古賀駅西口周辺の歩行環境の向上が求められる

- 未利用宅地（空地・駐車場）や空家の存在、都市基盤が弱い弱・老朽化している等の課題がある中で、通過交通を抑制したうえで歩行環境やにぎわい創出につながる具体の整備や取組みが必要

道路体系の方針

広域

『はしご型※自動車ネットワークの形成による道路交通の円滑化』

- 国道495号、国道3号とそれへとつながる地域内基幹道路のネットワーク
- 古賀駅周辺を通行する公共交通バス交通網の再編
- 周辺の主要施設や開発動向等の整理

※2本の並行する幹線道路（国道）を一定間隔で結ぶはしごのような形の道路網とすることで、災害等に代替交通路を確保できる等スムーズな交通の流れをつくることができる。

中域

『環状道路への交通誘導による中心市街地への自動車の流入抑制』

- 古賀駅西口周辺の通過交通を抑制する自動車ネットワークと、その際に必要なポイントとなる整備の方針
- 各エリアや施設をつなぐ東西一体の中域的な歩行者ネットワーク、将来的な歩行者ネットワーク
- まちなかウォーカブル区域の設定

狭域

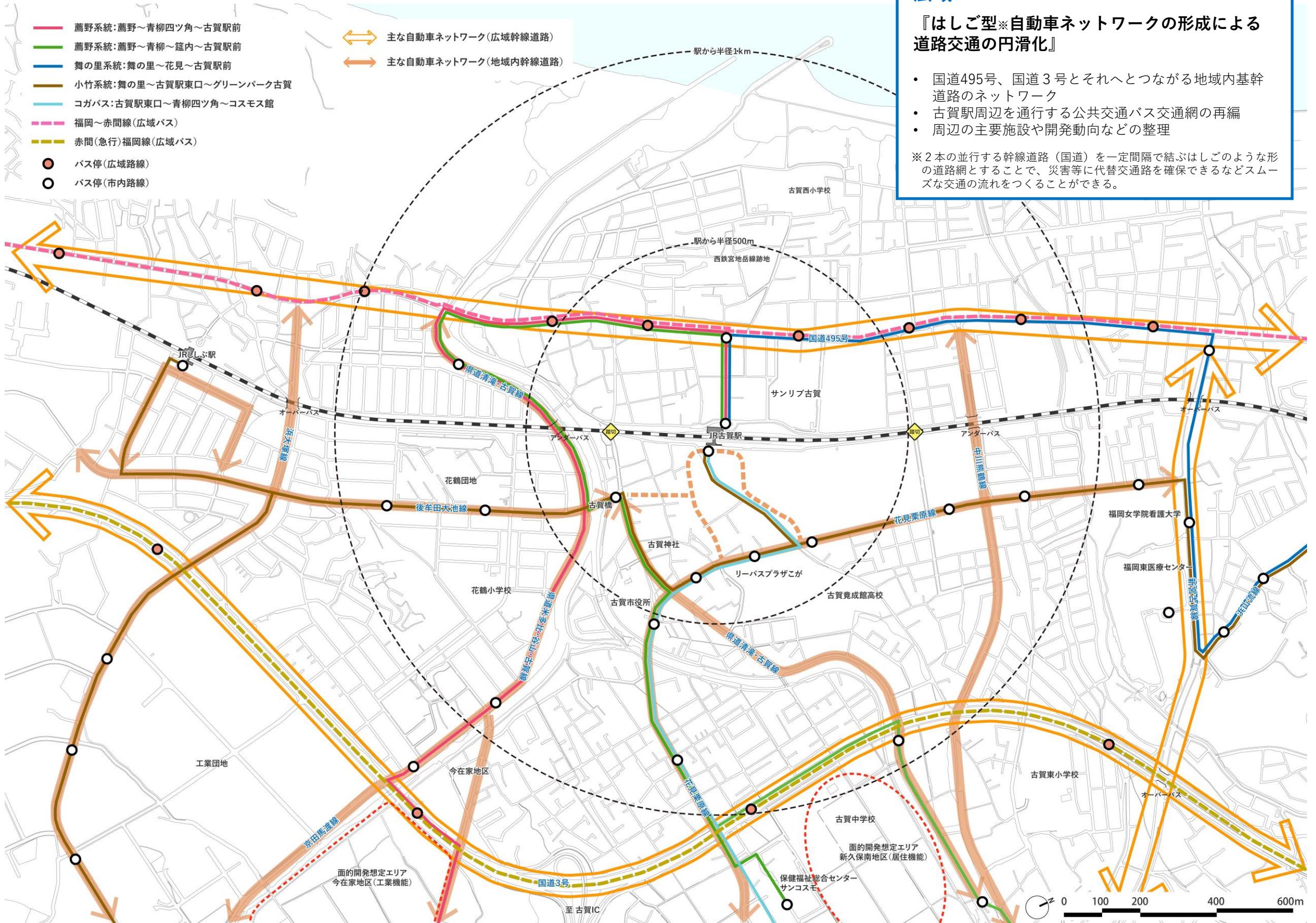
『安全・安心な歩行者ネットワークの創出による回遊性とにぎわいの向上』

- 空間整備につながるエリア内の各道路の位置付けの整理
- 歩行環境やにぎわい創出につながる整備ポイントの設定

道路体系の方針図（広域）

- 薦野系統：薦野～青柳四ツ角～古賀駅前
- 薦野系統：薦野～青柳～筵内～古賀駅前
- 舞の里系統：舞の里～花見～古賀駅前
- 小竹系統：舞の里～古賀駅東口～グリーンパーク古賀
- コガバス：古賀駅東口～青柳四ツ角～コスモス館
- 福岡～赤間線（広域バス）
- 赤間（急行）福岡線（広域バス）
- バス停（広域路線）
- バス停（市内路線）

- ⇄ 主な自動車ネットワーク（広域幹線道路）
- ⇄ 主な自動車ネットワーク（地域内幹線道路）



広域

『はしご型※自動車ネットワークの形成による道路交通の円滑化』

- 国道495号、国道3号とそれへとつながる地域内基幹道路のネットワーク
- 古賀駅周辺を通行する公共交通バス交通網の再編
- 周辺の主要施設や開発動向などの整理

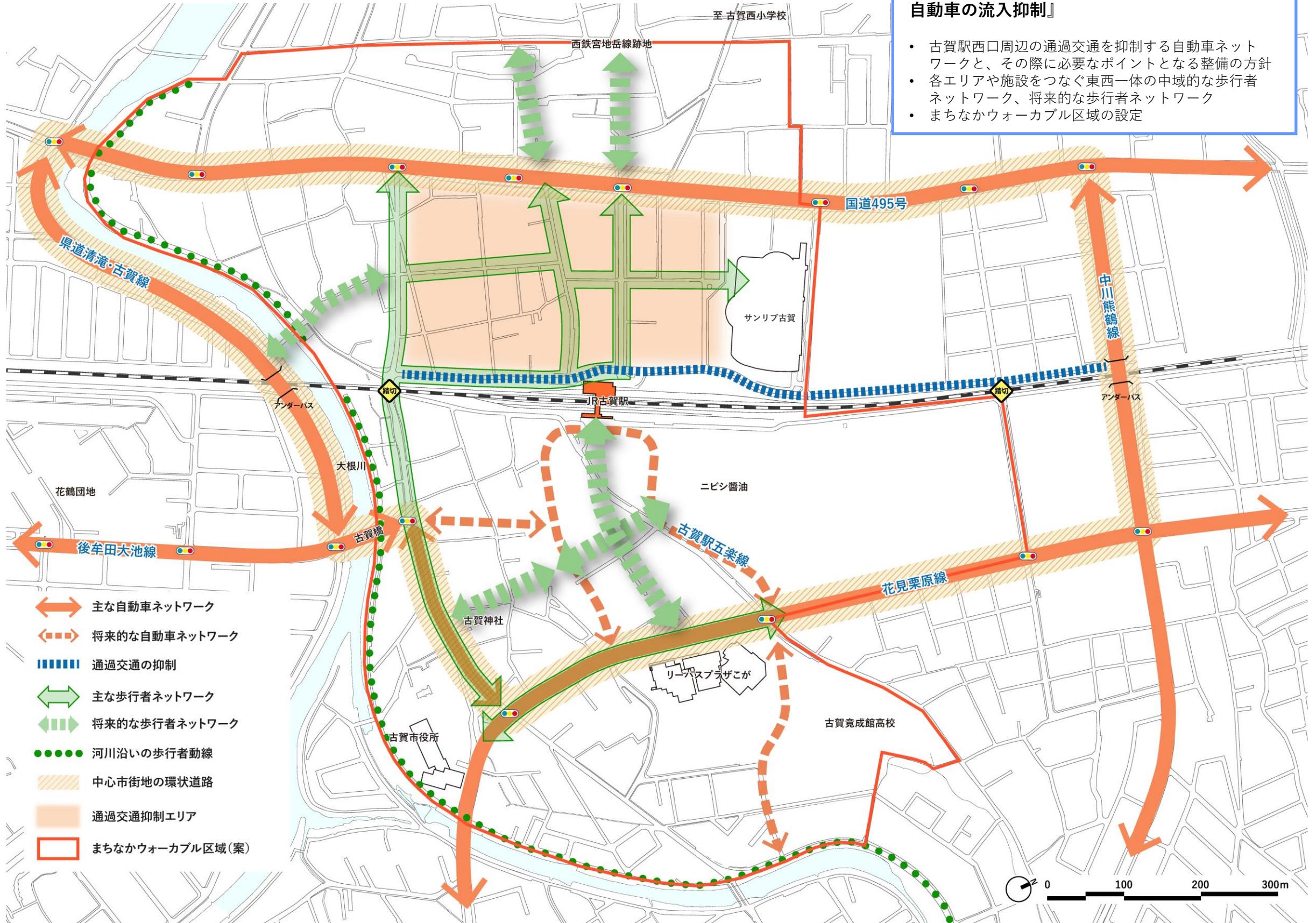
※2本の並行する幹線道路（国道）を一定間隔で結ぶはしごのような形の道路網とすることで、災害等に代替交通路を確保できるなどスムーズな交通の流れをつくることことができる。

道路体系の方針図（中域）

中域

『環状道路への交通誘導による中心市街地への自動車の流入抑制』

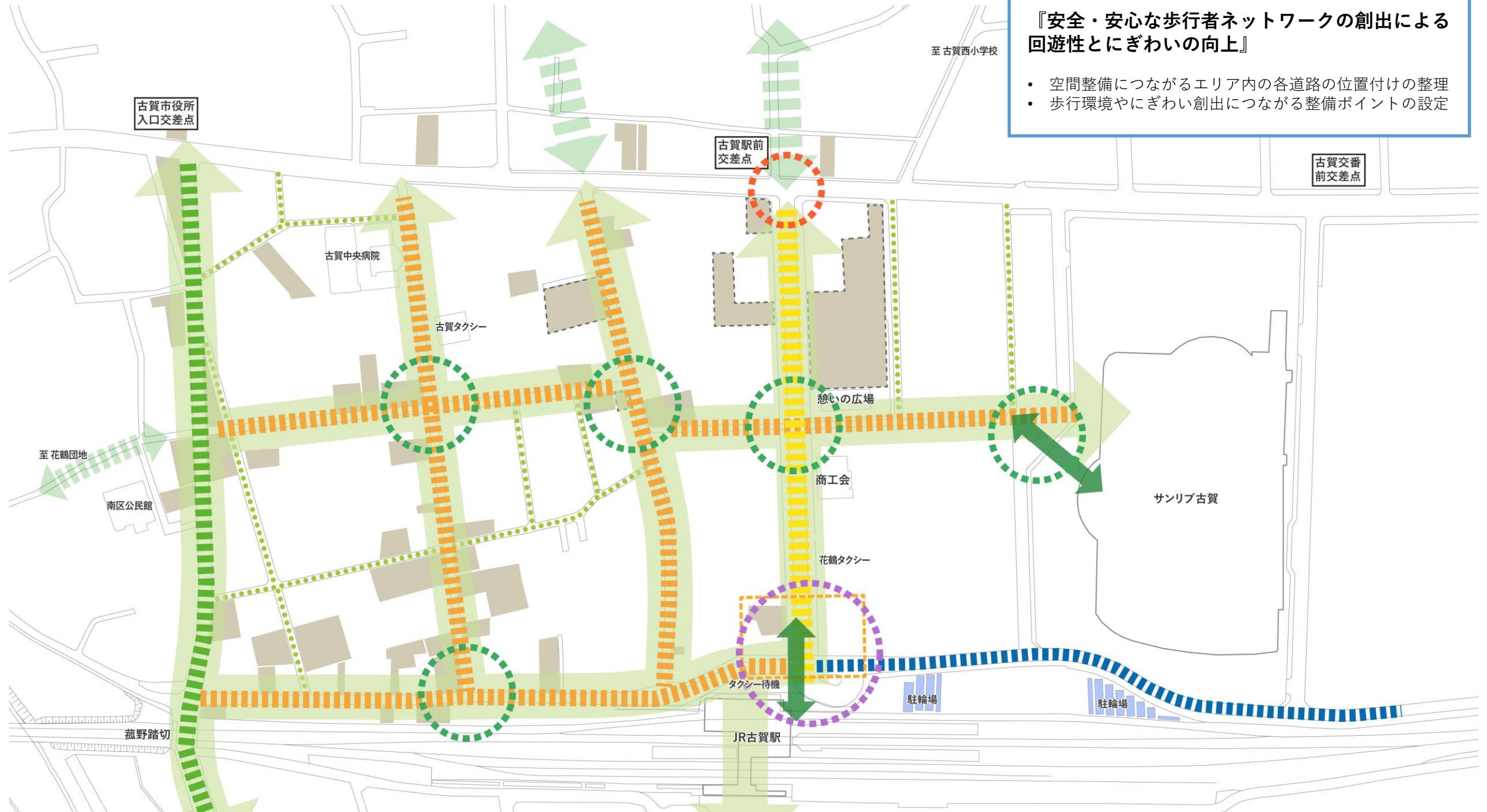
- 古賀駅西口周辺の通過交通を抑制する自動車ネットワークと、その際に必要なポイントとなる整備の方針
- 各エリアや施設をつなぐ東西一体の中域的な歩行者ネットワーク、将来的な歩行者ネットワーク
- まちなかウォークアブル区域の設定



道路体系の方針図（狭域）

狭域
 『安全・安心な歩行者ネットワークの創出による回遊性とにぎわいの向上』

- 空間整備につながるエリア内の各道路の位置付けの整理
- 歩行環境やにぎわい創出につながる整備ポイントの設定



- 駅前広場(都市計画区域)
 - シンボル空間軸の創出
 - 交通円滑化のための交差点改良
 - 通過交通の抑制
 - 多様なにぎわいによる回遊性向上
 - まちかどの魅力向上
 - 主な歩行者ネットワーク
 - シェアドスペースによる回遊性向上
 - 駅前広場の再整備
 - 将来的な歩行者ネットワーク
 - 補助的な歩行者ネットワーク
 - 歩行者の横断環境の改善
- 駐車場
 時間貸し駐車場
 月極駐車場